



大口 司郎 議員



Q・第4次総合計画 後期基本計画は

A・計画通り進める

Q 飛躍的發展に向けた、千載一遇のチャンスとは。

A 総務部長
MRJは、YS11以来、半世紀ぶりに開発を進める国産旅客機である。ジェット機としては、我が国初となる国家プロジェクトである。このプロジェクトの進展は、町の産業や観光の進展に大きく寄与し、にぎわいや活気、財政的なインセンティブを町にもたらす。

福祉、教育などあらゆる分野の施策に好影響を及ぼすと考える。

Q 全国的に人口減少の傾向の中、当町は短期的には増加傾向にあるが、来るべき人口減少の対策は。

A 総務部長
人口推計では、平成38年までは増加する見込みである。平成31年度までの計画期間とす

る後期基本計画では、特別の人口減少対策を施策としていない。しかしながら、子育てしやすい環境づくり、雇用につながる産業の育成など、総合計画に掲げる施策は、町の魅力向上となり、結果として将来的な人口減少の抑制につながるかと考える。

Q 名濃道路の名古屋空港オフランプの設置計画は。

A 産業建設部長
オフランプは、旧名古屋空港の当時の前提として、年間1千万人超であり、その特性を生かすため計画決定されたものである。平成

17年2月の空港機能移転と県営空港化により、年間利用客が65万人となり、前提条件が大幅に変わり現在に至っている。しかし、空港利用者のアクセス利便性の向上、航空宇宙産業の集積、広域防災拠点として、オフランプの果たす役割は以前と同様必要な施設と認識している。今後、計画の事業化に向け、県に要望していく。

Q 小中学校の空調設備の設置は。

A 教育委員会事務局長
豊山小学校、豊山中学校は、老朽化が進んでいるので、平成31年度までに整備計画を策定する。

エアコンの導入については、校舎建て替えの際に環境整備に努める。

エアコンの導入については、校舎建て替えの際に環境整備に努める。



まちづくりのビジョン—後期基本計画書